

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	演習3専攻	
科目基礎情報					
開設学科	音響芸術科	コース名	MAコース	開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	60時間
単位数	2単位			授業形態	演習
教科書/教材	必要に応じてレジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
担当教員情報					
担当教員	阿部雄太、阿部祥高		実務経験の有無・職種	有 MAミキサー	
学習目的					
この科目を受講する学生は、スタジオで実際に使用している言語や、ソフトウェアの使用方法をPCや放送で実際に流れたプロジェクトを見ながら 想像力を使って、スタジオ実習や現場で通用する力を身につける。					
到達目標					
この科目では、音に対しての理論や方法論の理解はもちろん、音づけやミックスに対して、より興味を持たせる、ミキサーや音響効果、アフレコが身近（自分でもできる職業なんだ）と 自信をつけさせることを目標にする					
教育方法等					
授業概要	この授業では、個人ワークやグループワークを採り入れる。インプットだけでなく、アウトプット、生徒自身が能動的に考えさせる授業を中心におこなって行く。				
注意点	この授業では、生徒に考えさせることを中心としていきたいので、なるべく教師の話中心にならぬようにする。 授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	レポート	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	成果発表 (口頭・実技)	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	アニメの音づけについて		無音のアニメをみて、どんな音が付いているか想像する		
2回	実習準備		バラエティ音づけの注意点、音楽のエディットのやり方を教える		
3回	リップシンクについて		リップシンクの大切さと、実際のVTRでどれくらいずれているか考える		
4回	ナレーションについて		ナレーション原稿の修正のしかた		
5回	テレビ番組視聴会1		Youtube世代にテレビ番組を強制的にみせる		
6回	アクティブラーニング1		未来のテレビはどのようにになっているかグループワーク		
7回	アクティブラーニング2-1		自分が面白い好きな作品の音についてプレゼンする		
8回	アクティブラーニング2-2		自分が面白い好きな作品の音についてプレゼンする		
9回	アクティブラーニング2-3		自分が面白い好きな作品の音についてプレゼンする		
10回	テレビ番組視聴会2		Youtube世代にテレビ番組を強制的にみせる		
11回	実習準備		バラエティ音づけの注意点、音楽のエディットのやり方を教える		
12回	テレビ番組視聴会3		Youtube世代にテレビ番組を強制的にみせる		
13回	前期模擬試験		模擬試験をする		
14回	前期模擬試験の回答		回答をもとに解説をしていく		
15回	まとめ		全体のまとめ		